

平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 4 月 28 日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社 上場取引所 大証二部・福証
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口 俊文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田畑 友三 TEL (0968) 66-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第1四半期	1,543	△6.1	△89	—	△120	—	△74	—
19年12月期第1四半期	1,644	1.7	0	—	△30	—	△25	—
19年12月期	7,917	—	117	—	△29	—	70	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第1四半期	△7	19	—	—
19年12月期第1四半期	△2	50	—	—
19年12月期	6	79	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年12月期第1四半期	23,539		9,928		42.2	961	63	
19年12月期第1四半期	23,856		9,982		41.8	964	83	
19年12月期	23,299		10,053		43.1	971	63	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第1四半期	△112		△109		213		349	
19年12月期第1四半期	177		△91		22		440	
19年12月期	631		35		△640		358	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
19年12月期第1四半期	円	銭
20年12月期第1四半期	—	—

3. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	4,130	4.4	100	19.3	30	200.9	10	—	0	97
通期	8,300	4.8	320	173.1	180	—	140	99.1	13	53

平成 20 年 2 月 22 日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は季節的に売上が少ない時期ではありますが、特に、九州の遊園地において2月の厳しい寒さや3月の春休み期間中の日曜日が2日間とも雨となり、前年同四半期が暖冬効果などもあり好調であったこと（H18年同四半期比77百万円増収）から反転して低調に推移し、前年同四半期と比べて110百万円の減収となったことが主な要因となり、売上高は前年同四半期と比べて100百万円の減収となりました。

なお、売上高のセグメント別増減内訳につきましては、以下のとおりであります。

- ①遊園地事業の減収101百万円は、九州の遊園地△110百万円や北海道の遊園地でいわみざわ公園の指定管理者としての売上が新たに生じたことなどから+13百万円が主な要因であります。
- ②ゴルフ事業の増収1百万円は、入場者数は0.8%減少したものの客単価の増加によるものであります。
- ③ホテル事業の減収40百万円は、九州のホテル事業が宿泊は順調でありましたものの宴会・料飲部門の減収により△36百万円、北海道のホテル事業で△3百万円となったことによるものであります。
- ④不動産事業の減収1百万円は、土地賃貸収入△8百万円、販売用土地売却+6百万円によるものであります。
- ⑤土木・建設資材事業の増収41百万円は、石炭灰処理部門や土木部門が順調に推移したものであります。

営業損益では、ゴルフ事業の経費削減や遊園地事業売上高減少による営業委託料減少、ホテル事業売上減少による材料費減少などの支出減がありましたものの、法人税法の改正に伴う残存簿価の5年償却による減価償却費の増加、土木部門の売上高増加による外注費の増加、不動産事業の不動産取得税支払などの支出増を加減し、前年同四半期と比べて90百万円の損失増となりました。

営業損益の対前年同四半期増減の内訳は、遊園地事業で△67百万円、ゴルフ事業で+9百万円、ホテル事業で△13百万円、不動産事業で△21百万円、土木・建設資材事業+8百万円が主な要因であります。

経常損益では、営業外損益がほぼ前年同四半期並みでありましたので、営業損益の損失増とほぼ同額の90百万円の損失増となりました。

四半期純損益では、特別損益がほぼ前年同四半期並みでありましたが、損失増による税金費用の減少を加減し、前年同四半期と比べて48百万円の損失増となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は1,543百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業損失89百万円、経常損失120百万円、四半期純損失74百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べて240百万円増加の23,539百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が43百万円、繰延税金資産が49百万円増加したことなどにより126百万円増加し1,445百万円となりました。また、固定資産は、有形固定資産が95百万円、投資その他の資産が18百万円増加したことなどにより、113百万円増加し22,093百万円となりました。

負債合計は、借入金が増加したことで364百万円増加の13,610百万円となりました。

また、純資産は利益剰余金が増加したことで124百万円増加の9,928百万円となりました。
(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、349百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、112百万円の減少となりました。これは主に、減価償却費により109百万円資金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失により118百万円、未払金の減少により78百万円資金がそれぞれ減少したためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、109百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で79百万円、投資有価証券の取得による支出で34百万円資金がそれぞれ減少したためであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、213百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加により407百万円資金が増加したものの、社債償還により86百万円、長期預り金の減少により69百万円、配当金の支払により31百万円資金がそれぞれ減少したためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年2月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

第1四半期は、季節的に売上が少ない時期であり、当社グループの損益増減の主な要因であります九州の遊園地では、例年第1四半期の売上高は中間期において概ね32%程度、年度において概ね16%程度であります。

前年の中間期では、第1四半期は好調に推移いたしましたが、その後はゴールデンウィークの中でも最盛日である5月4・5・6日が雨となり、また、5月5日に関西の遊園地で発生いたしました事故の影響を受けて厳しい結果となりました。

前年の経緯を踏まえ、また、ゴルフ事業も堅調に推移していますことから、業績予想の変更はいたしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1.現金及び預金	448	354	△94		362
2.受取手形及び売掛金	200	258	57		214
3.たな卸資産	627	553	△73		568
4.その他	170	289	119		182
5.貸倒引当金	△8	△10	△2		△9
流動資産合計	1,438	1,445	7	0.5	1,318
II 固定資産					
1.有形固定資産					
(1)建物及び構築物	5,858	5,870	11		5,945
(2)土地	14,730	14,592	△137		14,591
(3)その他	605	763	157		594
有形固定資産合計	21,193	21,226	32	0.2	21,130
2.無形固定資産	260	240	△19	△7.7	240
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券	277	213	△63		200
(2)その他	692	423	△268		419
(3)貸倒引当金	△8	△10	△1		△10
投資その他の資産合計	961	626	△334	△34.8	608
固定資産合計	22,415	22,093	△321	△1.4	21,980
III 繰延資産	3	—	△3	—	—
資産合計	23,856	23,539	△317	△1.3	23,299

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1.買掛金	58	50	△7		76
2.営業未払金	217	179	△37		89
3.1年以内に償還予定の社債	172	172	—		172
4.短期借入金	3,613	3,809	195		3,873
5.未払法人税等	23	9	△13		18
6.その他	475	664	189		612
流動負債合計	4,559	4,886	327	7.2	4,843
II 固定負債					
1.社債	344	172	△172		258
2.長期借入金	3,985	3,788	△197		3,317
3.長期預り金	4,755	4,540	△215		4,609
4.退職給付引当金	56	49	△6		51
5.役員退任慰労引当金	49	49	—		49
6.負ののれん	—	3	3		3
7.その他	123	120	△2		113
固定負債合計	9,314	8,723	△590	△6.3	8,402
負債合計	13,874	13,610	△263	△1.9	13,246
(純資産の部)					
I 株主資本					
1.資本金	4,180	4,180	—	—	4,180
2.資本剰余金	4,767	4,767	—	—	4,767
3.利益剰余金	1,016	986	△29	△2.9	1,091
4.自己株式	△0	△6	△6	—	△0
株主資本合計	9,964	9,927	△36	△0.4	10,039
II 評価・換算差額等					
1.その他有価証券評価差額金	18	1	△16	△92.8	13
評価・換算差額等合計	18	1	△16	△92.8	13
純資産合計	9,982	9,928	△53	△0.5	10,053
負債・純資産合計	23,856	23,539	△317	△1.3	23,299

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年12月 期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	1,644	1,543	△100	△6.1	7,917
II 売上原価	1,481	1,466	△14	△1.0	7,155
売上総利益	163	77	△86	△52.8	761
III 販売費及び一般管理費	162	166	4	2.5	644
営業利益	0	—	—	—	117
営業損失	—	89	—	—	—
IV 営業外収益	6	5	△1	△17.5	19
V 営業外費用	37	36	△1	△3.4	166
経常損失	30	120	—	—	29
VI 特別利益	3	6	3	114.4	120
VII 特別損失	0	4	4	10,714.7	19
税金等調整前当期純利益	—	—	—	—	71
税金等調整前四半期純損失	27	118	—	—	—
税金費用	△1	△43	△42	—	1
当期純利益	—	—	—	—	70
四半期純損失	25	74	—	—	—

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間(平成19年1月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合 計
	資本金	資本剰 余金	利益剰 余金	自己株 式	株主資 本合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算 差 額 等合計	
平成18年12月31日残高	4,180	4,767	1,073	△0	10,021	16	16	10,037
当四半期中の 変動額								
剰余金の配当			△31		△31			△31
四半期純損失			△25		△25			△25
株主資本以外の項 目の当四半期中の 変動額(純額)						1	1	1
当四半期中の変動 額合計	—	—	△56	—	△56	1	1	△55
平成19年3月31日残高	4,180	4,767	1,016	△0	9,964	18	18	9,982

当第1四半期連結会計期間(平成20年1月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰 余金	自己株 式	株主資 本合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額 等合計	
平成19年12月31 日残高	4,180	4,767	1,091	△0	10,039	13	13	10,053
当四半期中の 変動額								
剰余金の配当			△31		△31			△31
四半期純損失			△74		△74			△74
自己株式の取得				△6	△6			△6
株主資本以外の項 目の当四半期中の 変動額(純額)						△11	△11	△11
当四半期中の変動 額合計	—	—	△105	△6	△112	△11	△11	△124
平成20年3月31 日残高	4,180	4,767	986	△6	9,927	1	1	9,928

前連結会計年度(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰 余金	自己株 式	株主資 本合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額 等合計	
平成18年12月31 日残高	4,180	4,767	1,073	△0	10,021	16	16	10,037
連結会計年度中の 変動額								
剰余金の配当			△51		△51			△51
当期純利益			70		70			70
株主資本以外の項 目の連結会計年度 中の変動額(純額)						△3	△3	△3
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	18	—	18	△3	△3	15
平成19年12月31 日残高	4,180	4,767	1,091	△0	10,039	13	13	10,053

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1.税金等調整前四半期(当期)純利益(△純損失)	△27	△118	71
2.減価償却費	102	109	428
3.のれん償却額	7	—	29
4.負ののれん償却額	—	△0	—
5.貸倒引当金の増加額	0	1	3
6.受取利息及び受取配当金	△0	△0	△2
7.支払利息	35	36	147
8.持分法による投資損失	0	—	12
9.固定資産売却益	—	△3	△103
10.固定資産除売却損	0	4	2
11.売上債権の増減額(△増加額)	12	△47	△3
12.たな卸資産の減少額	10	14	50
13.仕入債務の増減額(△減少額)	86	64	△23
14.その他	△2	△129	147
小計	225	△69	759
15.利息及び配当金の受取額	0	0	35
16.利息の支払額	△34	△38	△147
17.法人税等の支払額	△13	△4	△40
18.法人税等の還付額	—	—	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	177	△112	631

	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.有価証券の取得による支出	△0	△0	△0
2.有価証券の売却による収入	0	0	0
3.有形固定資産の取得による支出	△50	△79	△174
4.有形固定資産の売却による収入	—	4	267
5.投資有価証券の取得による支出	△34	△34	△34
6.貸付けによる支出	△5	—	△57
7.その他	△1	0	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91	△109	35
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.短期借入金の純増減額(△純減少額)	434	△135	84
2.長期借入れによる収入	100	1,100	1,238
3.長期借入金の返済による支出	△338	△557	△1,534
4.社債の償還による支出	△86	△86	△172
5.長期預りによる収入	0	0	0
6.長期預り金の返済による支出	△55	△69	△201
7.自己株式の取得による支出	—	△6	—
8.配当金の支払額	△31	△31	△51
9.その他	△0	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	22	213	△640
IV 現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	108	△9	26
V 現金及び現金同等物の期首残高	332	358	332
VI 現金及び現金同等物の期末残高	440	349	358

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年12月期第1四半期)

(単位：百万円)

	遊園地 事業	ゴルフ 事業	ホテル 事業	不動産 事業	その他 の事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	630	288	531	45	213	1,709	(65)	1,644
営業費用	625	296	528	19	166	1,637	6	1,643
営業利益(△損失)	4	△7	2	25	47	72	(71)	0

当四半期 (平成20年12月期第1四半期)

(単位：百万円)

	遊園地 事業	ゴルフ 事業	ホテル 事業	不動産 事業	土木・ 建設資 材事業	その他 の事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	582	292	488	43	175	25	1,606	(62)	1,543
営業費用	639	290	499	39	125	25	1,618	14	1,633
営業利益(△損失)	△57	2	△10	3	50	△0	△11	(77)	△89

(参考) 前期 (平成19年12月期)

(単位：百万円)

	遊園地 事業	ゴルフ 事業	ホテル 事業	不動産 事業	土木・ 建設資 材事業	その他 の事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	3,914	1,275	2,245	226	432	114	8,209	(292)	7,917
営業費用	3,827	1,220	2,157	149	338	104	7,798	1	7,799
営業利益	86	54	87	77	94	10	411	(294)	117

[所在地別セグメント情報]

当四半期、前年同四半期及び前期において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

当四半期、前年同四半期及び前期において海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。